

「外国語学習のめやす」課題発表：目標設定・活動・評価  
作成者：山崎秀樹/北海道千歳高等学校教諭(英語) 千歳バーガープロジェクト  
アクティブラーニングの要素を用い、地域の観光マーケティングについて考える

## 単元案の概要

テーマ
ご当地グルメ千歳バーガーを海外からの観光客にプロモーションしよう(3年生プロジェクト)
目標
学習レベル3:「きちんと伝わる」広告媒体をめざして、英語表記について考える
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 海外の観光客の方に理解してもらい、それがよい宣伝効果になるような英語表現を学ぶ。</li><li>○ 食育、地産地消、地域の産業について英語の記事やニュース映像に触れ世界の取組を知る</li><li>○ 情報の受け手の立場になって考え、どんな情報をどのような媒体で発信するかを学ぶ。</li><li>○ 協働で議論や作業を行い、取材、英語表現の研究、英語版メニューを作成する。</li><li>○ 地産地消と観光による地域経済の活性化の課題に関して実践を通して理解を深める。</li></ul>
コミュニケーション能力指標
【話題分野】食、交通と旅行、買い物、地域社会と世界(オリジナル指標)
3-a [critical thinking]空港や観光地、店頭などで日常目にする英語について批判的に見る
3-b [knowledge]取材やリサーチで地域の特産、観光、ビジネスや商品について理解を深める
3-c [expression]取材を元にご当地グルメの何をどう海外観光客にPRするかを考える
3-d [IT skills+English]英語版広告のデザイン、フレーズ、商品の特長の説明について考える
3-e [Teamwork]チーム内のメンバー、ALT、レストランオーナーとの連携
学習シナリオ
1) 千歳高等学校は新千歳空港から15分の位置にあり、近年海外、特に中国・台湾・香港・タイ・韓国・サハリンとの直行便が多く就航している。商店、空港や駅などで英語表記を見かけるが、正確さの面で課題が多いことに気づかせる(ALTや観光客の声、新聞報道)。
2) 地域の観光産業では、外国語ができる観光ガイドや店員を求める声大きい。そこで、本校の国際教養科・国際流通科の利点を生かし、地元のビジネス、観光業と連携し、本校生徒が他県的に学べる機会にしたい。そこで、昨年ご当地グルメとしてデビューした「千歳バーガー」を英語でプロモーションしてはどうか?(生徒へこれをやるかやらないかの確認)
3) コミュニケーションは話すだけではなく、文字やデザイン、映像や画像を媒体として行われるものであり、海外からの観光客へのPRがもっと正確で、地域について理解され、購買意欲につながるように作成するのが「広告」であり、身近で言えばメニューやPOP広告である。
4) この活動の前段階として「Fastfood(映画“supersize me”」「和食の世界遺産登録(BBC news/Japan Times)」「日本の学校給食の利点(Washington Post)」「Jaimie OliverのFood Revolution(BBC America)」「地産地消(日本経済新聞)」「観光の6次産業化(北海道新聞)」の記事を読み、関連映像を視聴し、世界のケース、日本のケースに関して理解を深める。
5) 千歳バーガーの特長について説明 生徒が知っているファストフードのハンバーガーとご当地グルメとしての千歳バーガーの違い

## 「外国語学習のめやす」課題発表：目標設定・活動・評価

作成者：山崎秀樹/北海道千歳高等学校教諭(英語) 千歳バーガープロジェクト  
アクティブラーニングの要素を用い、地域の観光マーケティングについて考える

について知る。生産者・地産地消・観光資源化・地域活性化という点。(千歳バーガーは生産量北海道一の卵を使用するという縛り以外は自由に創作でき、店ごとの特長が出やすい)

### 6) キックオフミーティング：外部(専門家・メディア)の協力を求める

千歳バーガー協議会の方に来校いただき、説明を受け、激励していただく。このプロジェクトが地域の高校生による地域活性化プロジェクトであることを、お話しいただく。報道機関に依頼し報道してもらうなど、本格プロジェクトであることを強調し、責任を持って取り組んでもらうこと、普段学んでいることが実際に生かせる経験をしてもらう。

### 7) ハンバーガーの基本用語(英語)の導入

広告作成の際に必要な語彙、おいしさや斬新さ、食材の特長などの語彙をブレインストーミングで共有。米国大手ハンバーガーチェーンのCMや広告を研究する。形容詞を使うにしても、よく知っている'big'だけでなく、'huge'を使ったり、「おいしい」を想起させる表現('juicy', 'mouth-watering')を学んだりするなど工夫してみる。

### 8) 各販売店舗・レストランなどへの取材

「千歳バーガー協議会」という店舗の加盟で作る協議会に支援を仰ぎ、各店舗で生徒が取材や試食などがしやすい環境を作っておく。生徒は、アポイントを取り、取材内容を伝え、バーガーの特長、地元の特産品・観光資源についてオーナーやシェフから話を伺う。

### 9) 英語版メニュー内のフレーズ作成・レイアウト・デザイン

英語版メニューの内容を精査し、キャッチフレーズ、写真、説明文、デザインを考える。この際、ALTに必ずチェックを入れてもらう。これを怠ると、和製英語や間違い英語になる。

### 10) PCスキル・ITスキル

パワーポイントを使用し広告作成をする。配色やレイアウトには便利。取材先で撮ってきた写真をより鮮やかに見せるために、画像加工ソフトを使用させ、使い方に慣れる。

### 11) 修正・最終確認：作成したメニューを店舗に持参(送付)し、助言を求める。修正点があれば反映させる。特に価格表記、著作権、所在地などの情報には注意させる。

### 12) 完成お披露目会

千歳バーガー協議会やメディアの方々をご招待し、お披露目会(メニュー発表プレゼンテーション)を行う。役所、観光協会、テレビ局、新聞社の方に見ていただく。

## 総括的評価

成績に関わる細かい評価(チェック項目)はRUBRICに譲るが、プロジェクトとしての評価は完成品、生徒が実践した内容、プレゼンテーションと店舗や外部の方のコメントで行う。生徒が行ったプロジェクトに関して、外部の方々の反応やメディアの報道など、地元の高中生によるプロジェクトが支持・評価され、店舗の方々にメニューを使っていたら成功とする。